

一ト始まって、今年度中にもう結論を出すと、策定を終わらすというふうに報じられておりますけれども、10年先を見据えた総合計画というのは、ことしと来年、2年かけて26年からだということになりますと、これは、観光に限っていえば例えばの話ですが、そういう期ズレなり整合性をどういうふうにとっていくのかなというふうなことが非常に総合計画の難しさであったりするわけです。だと私は思います。ですので、その辺のところの市長のお考えと、もう1点だけ、例えばですが、ほかの市町村でも全国的に進められてる、首長のいわゆるマニフェストとか政策提言を実現するためというふうな言葉、もう一つの意味合いがあると思いますが、基本、総合計画については4年単位の、4年では短過ぎるから、4掛けるの倍数で8年とか12年の総合計画をつくられてる市町村もあるというふうに聞いております。

ですので、その辺の総合計画についての考え方と振興計画等の兼ね合いについて、市長からお考えをお尋ね申し上げます。

○蒲生光男議長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 お答えいたします。

観光振興計画についてのご質問、ちょっと趣旨がよくわからなかったんで、ピントがずれるかもしれませんが、観光振興計画というのは、将来の長井市の観光どうするかということで、ことし策定予定です。それを10年計画に生かそうということです。あと、中心市街地の活性化基本計画については、時間がかかりますので、方向性だけを10年計画の中に入れるべきではないのかなと思っております。

もう一つ、マニフェストといいますか、選挙公約的なものを総合計画に反映させる手法というのは一つあるかと思えます。例えば例を挙げますと、現在の吉村山形県知事が、公約されたことを実現するために就任してすぐ着手されたのが総合計画の見直しということで、県のです

ね、ございましたので、こういうやり方あると思います。

したがって、例えば我々、4年の任期ですから、4年をもう8年間に区切って総合計画を練り直すというやり方もあるんでしょうけれども、私としては、やはり総合計画というのは議会の承認を得て、市民の皆様からいただいたものなので、それは方針に従ってやっていくと。自分のマニフェストといいますか、それはそれで議会のご同意をいただいて進めていくという考え方で、10年計画というふうにしております。以上でございます。

○5番 小関秀一議員 以上で終わります。

大道寺 信議員の質問

○蒲生光男議長 次に、順位7番、議席番号8番、大道寺 信議員。

(8番大道寺 信議員登壇)

○8番 大道寺 信議員 おはようございます。

本定例会に当たり、通告してあります2点について質問いたします。

なお、7日の他の議員との質問内容と大分重複しますけれども、ご理解をいただいて、ご答弁をお願いしたいと思います。

まず、第1点目は、雇用問題と今後の対応についてであります。

日本経済は、建設業などで震災復興需要の増加等による好調な産業があるものの、長期間にわたる円高や国際的な競争激化等の影響により、電機産業を中心に厳しい状況にあるなど、全体として依然低迷をしております。特に厳しい電機産業では、半導体大手のルネサスエレクトロニクスや家電メーカー大手のシャープなどで大幅な構造改革によるリストラが計画されるなど、上場企業約50社で約2万人に及ぶ人員整理が打

ち出されており、今後さらに川下産業、企業にも影響が出てくるのが懸念されるなど、雇用面で大変厳しい状況にあります。

これらの影響は、ルネサスエレクトロニクス鶴岡工場の譲渡の検討や小国町のコバレントマテリアルの希望退職の実施など、山形県内にも及んでおり、今後さらに影響が出てくるのが懸念されます。こうした中で、7月11日に東芝ライテックから製造拠点再編成について発表があり、同社長井工場と関連会社である飯豊町のLDF（旧和光電気）の閉鎖と鹿沼工場へ集約するとの内容が示されました。長井市にとっては大きな影響を及ぼす内容が突然発表されたこともあり、衝撃的な出来事と言えます。

さらに、他の市内企業においても、雇用にかかわる動きがあるとの話が聞こえてくることから、今後の雇用動向も厳しさを増すことが懸念されることから、以下の質問をするものであります。

まず、1点目の東芝ライテック閉鎖問題への対応はについてであります。

7月11日発表された当日に、東芝ライテックから市に対して説明がありましたが、当日は、市長及び議長が海外出張につき副市長が対応し、その後、飯豊町長とともに副市長、副議長がライテック本社に出向き、再考を申し入れたわけですが、残念ながら要望は聞き入れてもらえなかったとの報告を受けております。その後、市長が帰国後、改めて東芝ライテックから説明を受けられたと聞いておりますが、今回の閉鎖問題は、製造拠点の再編であり、雇用は継続するとなっておりますが、現実的には簡単に行けるどころではなく、かつ行けたとしても居住移転を伴うなど厳しいものであります。

また、やむを得ずやめざるを得ない人の新たな就職先は、長井市の現状の雇用情勢が直近の有効求人倍率で0.77と極めて厳しいことから、探すことが困難であり、かつ人口の減少にもつ

ながりかねないなど、長井市にとっても大変な問題であると思いますが、今回の閉鎖問題について、市長はどのように捉えておられるのか、まずお聞きをいたします。

また、7月19日の全員協議会でも申し上げましたが、改めて市長、議長に東芝ライテック本社に対して、市としての要望を伝える必要があると考えますが、その後、訪問されたのかお聞きをいたします。

現在、東芝ライテック及びLDFでは労使の交渉中と聞いていますが、鹿沼に行けない人たちは、形態はどうあれ、何とか工場として残せないのかとの要望が強いと聞いています。また現在、当該者は悩んでいると聞いており、その人たちのためにも、行政として後押しすべきと考えます。労使の交渉は、基本合意に向けての最終の段階に近い状況であるとも聞いていますので、時間的には猶予がないと思いますが、市長の考えをお聞きいたします。

さらに、現在の動きはどのようなになっているか、把握していればお聞きをいたします。

また、当該の従業員のほかに、下請や派遣あるいは取引先等にも影響があるのではないかと考えますが、実態がわかれば、商工振興課長にお聞きをいたします。

この項の最後になりますが、今後の動向にあわせ、行政としてどのような支援ができるのか、考えていることがあれば、市長にお聞きをいたします。

次に、2点目の市内製造業の動向と雇用への影響をどう捉えているかについてお聞きをいたします。

8月1日の全員協議会において、市長から、東芝ライテック以外の企業においても潜在的な動きがあり、製造業は大変厳しい状況である旨の話がされております。私のほうにも、海外展開等の動きがあり、国内というよりも市内の操業にも影響があるのではないかと等の話が聞こえ

ていますが、具体的な動きについて、わかる範囲で結構ですのでお聞きをいたします。

特に、雇用に与える影響がどの程度あるのかも、わかればお聞かせいただきたいと思います。

あわせて、市の基幹産業である製造業は大きな波に襲われており、今後の長井市にとって憂慮すべき状況と考えますが、どのように思われるのか、市長の見解をお伺いをいたします。

3点目は、来春新卒者の求職見込みと行政としての取り組みはについてお聞きをいたします。

現状のさまざまな動きを考えると、来春新卒者の就職が心配であると考えます。平成23年度の主要施策の成果と課題によると、ここ数年の就職率は100%であったが、平成23年度は内定にならなかったまま卒業した生徒が1名となり、不況の影響が出ているとなつていますが、今年度はさらに厳しいと思いますが、どのように見ておられるのか、お聞きをいたします。

また、昨年の特徴として、建設業や介護職の求職が多かったと聞いておりますが、今年の現時点での見通しはどのように捉えているのか。

一方では、建設業や介護職には求人者が少ない、すなわち需給のアンマッチが問題との見方がありますが、どのように見ておられるのか、お伺いをいたします。

こうした中で、行政としてどのような取り組みを考えておられるのか。

白鷹町では、町長が先頭に立って、積極的に企業に対する求職の働きかけをしているとの話を聞いておりますが、長井市としても積極的な取り組みが必要と考えます。あわせて、商工振興課長にお聞きをいたします。

第4点目は、企業誘致等の対策を打つべきではについてであります。

長井市が重点施策として掲げる人口3万人復活と日本一幸せを実感できる町の実現には、雇用の場があることが最大の要件であると考えますが、このままでは人口の減少が加速し、市に

活力がなくなっていくことが危惧されます。こうした中での産業振興は、中長期的な課題であり、一朝一夕にはいかないと思いますけれども、真剣に取り組む時期であると考えます。

これまでも、産業振興コーディネーターの設置や企業立地促進等補助金の活用等の手だてをとっており、今後、その成果に大いに期待をいたしますけれども、企業誘致についても再度検討すべきと考えます。

これまでの経過では、日本全体として海外シフトに移行するという傾向がますます強まっている状況から、企業誘致は難しいと言われてきました。その状況の認識に異論はないわけでありまして、実際に動きをしていくことが重要であると考えます。

企業誘致というと、大きい規模の企業で一流企業と考えがちですが、規模にこだわらずに進めることも重要であると考えますし、今回のライテックとLDF問題でも明らかのように、同じ経済圏においての雇用という視点では、隣接自治体と協働で誘致を進めることも必要ではないかと考えます。

あわせて、県の強力な支援を求めて進めることなどが考えられると思います。市長の見解をお聞きをいたします。

次に、大きな2点目の都市再生整備事業についてお聞きをします。

この都市再生整備事業については、3月、6月定例会でも多くの議員から質問がされ、議論が行われてきましたが、本定例会では、河川緑地公園及び観光交流センターに係る測量設計等業務委託料が補正予算で提案されています。観光振興計画と関連し、数多くの点で質疑すべき項目があると考えますが、今回の質問は、河川緑地公園と観光交流センターの二つについて、以下質問をいたします。

1点目は、河川緑地公園より災害対策として堤防補強が重要なのではないかについてであり

ます。

河川緑地公園予定地のうち、国交省による土地購入の経過説明資料によると、平成21年9月、堤防補強工事の用地購入のほか、隣接する多目的広場予定地の用地の購入も要望し、平成22年1月、予算の範囲内で用地買収に着手となっていますが、堤防補強工事の用地購入はもちろんですが、この多目的広場は国交省の事業地として購入されたのか。とすれば、整備も国交省で行うのが筋ではないかと思えます。もし、整備は市がやるとのことであれば、既に平成21年9月か10月の時点で計画ができていたということになるのではないかと思います。私たちには一切説明がなかったと思えます。この点について市長にお聞きをいたします。

また、市民からは、水害の心配が出されています。堤防決壊の心配もそうですが、河川公園が浸水することについても出されています。さらに、公園をつくったとしても、維持管理にかなり費用がかかるのではないかと懸念の声が出されていますが、一番心配なのは、最近の異常気象によるゲリラ豪雨、集中豪雨であり、長井市は数年来、いわば羽越水害以降ないと言われるかもしれませんが、最近の全国的な事例では、ないとは言い切れず、むしろいつでも起こり得るとの認識が必要と考えます。

こうした中では、市民の安全を考えれば、今やらなければならないのは堤防の補強ではないかと思えますが、市長の見解をお聞きをいたします。

二つ目は、観光交流センターの予定地は適地なのかについてお聞きをいたします。

まず、本定例会に測量設計等業務委託料が出されていますが、予定地は旧マーク跡地に決定したのかについてお聞きをいたします。

3月、6月定例会でも、多くの議員から質問がありましたが、一貫してまだ場所は決まったわけでないかと答弁されてきました。一方、各議

員から提起のあったつつじ公園付近や旧長井ダム工事事務所等がふさわしいのではとの質問に対し、都市公園であること、右折の際に渋滞すること、地権者の理解が得にくいなどの理由が言われており、旧マーク跡地がふさわしいという考えが示されてきたものと思えます。

しかし、予定地は、現在、旧マークやハイマンビルの建物が残っており、解体費用が必要であること、民家が3件あり、移転補償が必要なこと、シルバーワークプラザの解体も必要であり、かつシルバー人材センターの移転も必要になること、小学校及び幼稚園があり、安全面から心配であること、信号からの右折の際の交通渋滞は、旧長井ダム工事事務所に対する考えと同じく、当然心配がされること等から、適地とは言えないのではないかと考えますが、改めて市長の見解をお聞きをいたします。

以上で、壇上からの質問を終わります。ご清聴ありがとうございました。（拍手）

○蒲生光男議長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 大道寺議員のご質問にお答えいたします。

議員から、私の答弁は10点ほどあったというふうに思います。できるだけ簡潔に急いで答弁いたしますが、よろしくお願ひしたいと思ひます。

まず最初、雇用問題と今後の対応についてでございますけれども、東芝ライテック閉鎖問題への対応ということでございます。

どのように捉えるのかということで、議員ご指摘のとおり、長井市にとっては大変大きな問題でありまして、今までも市内の大手企業、有力企業が株式譲渡あるいは経営譲渡、そして事業譲渡により、経営主体が変わるといった、長井市の経済にとって、あるいは雇用にとって大きな影響があった事例があるわけですが、それでも前の事例は、別な会社として残っていたわけですね。それなりの多くの雇用も

維持できた。しかし、今回の事例は、本当に長井市から手を引くということですので、そういった意味では、今までと違うということで、非常に深刻に受けとめております。

議員からもありましたように、解雇はしないというものの、じゃあ働きたいんなら栃木に移れと、こういうふうになるわけですから、これは大変な問題だというふうに思います。そういった意味では、経済面、雇用面あるいは転勤による人口減少、三つの分野でマイナスの影響が考えられますので、深刻であるということは私も認識してるところでございます。

市長、議長が市の要望を伝えるべきじゃないかと、もう一度、行ったのかというご質問ございましたけれども、東芝ライテックが今回の方針を変更し、長井市で他の製品を生産するような見直しをしてもらえれば一番いいわけですが、今泉議員のご質問でもお答えしましたように、現在のLED電球の普及については、電球業界にとって地殻変動が起きたと言えるような大きな変化だというふうに申しておられましたし、実際、私もそのように認識しております。このため、ライテックとしても、企業の存続をかけるような、生き残りをかけた今回の決断だということだと思います。

結局、今までの従来の電球とか蛍光灯はほとんど今後需要が見込めないということであり、LEDが主体であるという流れは変わらないという認識でございます。そのため、現在の工場を活用し、新たな事業展開の可能性について要望等を行っていくべきだろうというふうに、少し視点を変えていかなきゃいけないのかなと思っております。

従業員の雇用確保は、市民生活を守るために重要でございますので、会社へ十分な対応を要請し、再就職等のあっせんが必要となった場合は、ハローワークとも、あるいは事前に会社に勤めながら、ほかのところを探すというのはハ

ローワークではできませんので、そういった厚生労働省関係の外郭団体があるそうなんです、そういったところに、議員もご承知だと思いますが、もう既に動いていただいているわけですが、長井市としてもいろいろ支援を考えなきゃいけないと思っております。

今後についてでございますが、今泉議員のときもお答え申し上げましたけれども、県の商工労働観光部長も行かれてるわけですよ。そのとき私も行ってないものですから、何とか8月の上旬に一緒に行けないかと検討したんですが、残念ながら日程が入っててできませんでしたので、今後は鹿沼への移動等に関し、労働組合、従業員の意向がまとまった段階で、ぜひその状況をお聞きしながら、踏まえて、再度本社へ要望や対応について協議に出向くべきじゃないのかなというふうに思ってるところでございます。県と飯豊町と歩調を合わせていきたいと思えます。

海外の展開検討企業と影響についてということでございますが、海外に工場を持ち、主力を移す動きのある企業が1社でございます。具体的に新たな海外展開を検討してる企業が2社、今後、海外との関係を考えてる会社が複数社あると聞いております。また、既に海外展開してる企業が2社ありますが、海外工場に重点を移すといった意向ではないというふうに考えてます。ほかに国内の取引の関係で、生産拠点を長井市外にも、宮城県ですけど、設けた会社が1社ございます。

現在の製造業を取り巻く環境についてでございますけれども、今、ものづくりのまち長井にとって大きな試練ですが、これは政府に対して文句を言ってもしょうがないんですけども、このデフレとか需要をどういうふうにして喚起するんだというところをデフレ克服して、国が抜本的な政策をやっぱり打っていくしかないんだと思うんですね。それから、あと金融政策とし

て、円高を緩和する措置が不十分だと。これは私、素人ですから、私が言ってももうしようがないわけですが、やっぱりこれは政府に頑張ってもらわないと。これを解決しない限りは、この傾向はどんどん進むと。幸いにも東北のほうに自動車産業が、トヨタが東日本ができたということで、そちら関連は今、何とか太平洋側で活況を呈しておりますけども、それが基本だと思っております。

長井市には、ただ技術力を持った事業、会社が数多くあります。これを生かして受注拡大につなげる支援を今までも行ってきたんですが、現在は、トヨタ東日本関係の受注獲得に向けたアドバイザーによる個別指導をいただいております。今までは産業振興コーディネーターということで、トヨタ関連の商社から3年間、今度は、トヨタ関係の企業の役員をされた方から、アドバイザーとして経営指導を去年からしていただいております。受注につなげるためには、ある程度の年数も必要ということでございますんで、もう少し支援を継続して受注拡大を図り、現状改善につなげたいと考えております。

また、こうした製造業の状況を踏まえますと、一つの業種に集中するリスクもありますので、製造業以外の雇用の拡大、産業の振興も必要と考えます。例えば、今回、中心市街地の活性化によって、商業、サービス業、こちらのほうが非常に長井市は弱くなっておりますんで、ここにてこ入れするというのもやはり重要だというふうに思います。ぜひまちなか観光や特産品の販売等の3次産業分野の振興にも力を入れていく必要があると思います。

企業誘致等を本格的にやるべきじゃないかということでございますが、議員ご指摘のとおりでございます。私もいろいろと名古屋に2回、東京で1回、県のインダストリアルセミナーに行っておりまして。しかし、首長で行っているのは私だけっていうのは、東京と名古屋でした。

名古屋、最初の年は酒田と河北行ってましたけども。だから、決して私は企業誘致をおろそかにしてるわけじゃありませんし、何といたってもものづくりによる雇用が大きいということでもあります。ここはぜひ議員からもご指導いただきたいと思っております。

ただ、改めて外に出て営業してまいりますと、感じるのは、長井市は売り物がないんです。何がないっていうかという、工業団地としてないんですよ、場所が。ですから、県のパンフレットにも、企業振興案内にもないんです、長井市は。成田の工業団地は農工団地なものですから、分譲地ってないんですね。ですから、そういった意味では、ちょっとハンデがあると。

しかし、長井市の規模でこれから工業団地をつくるというのは、これは難しいだろうということで、ことしから県の重要要望に工業団地等ということで要望を上げたところでございます。最初、県の担当のほうからは軽くあしらわれたけども、それは違うだろうと。県としてもこんな状況でいいのかということを実際に話してきました。

例えば、今考えられてるのは、成田あかしあ産業団地内にある大きな空き地があるわけですね。今使っていないところ、ここにはその所有者のほうに、本社に出向いて、2年前ですけども、了解をいただいております。ぜひ企業を立地したいという企業があった場合はご協力をとったところ、快く承諾いただきました。

あともう一つは、新潟山形南部連絡道路、これが梨郷道路が南陽市からこの長井市までつながるわけですが、長井市の接点のところは今泉の外れ、長井市の外れでございます。ここは川西町と飯豊町の境なんですね。ですから、この周辺に、県のほうに新たな立地のための用地を県として検討してほしいというふうに申し上げてきたところです。これは今の弱電関係、長井市の電機関係ですね。あるいは自動車関連

のみならず、できれば食品加工とかの立地、これは仙台と新潟の中間だという利点を生かす。あるいは医療関係、こういったところもぜひ県と一緒にやっていくと。残念ながら、市町村の連携だけではなかなか難しい時代になっております。もう県同士の戦いになっております、企業誘致は。そういう意味では、県と一体になってやっていかなきゃいけないということで、県や県の企業振興公社とか連携しながら、ぜひ誘致活動を、今回の場合は飯豊町、川西町と連携しながらやっていく方向で考えていきたいと思っております。

次に、2点目の都市再生整備事業についてでございますが、河川緑地公園より災害対策として堤防補強が重要なのではないかとというのは、もちろん議員のご指摘のとおりでございます。

これにつきましては、平成21年度認定になりました、かわまちづくり事業、これは国の直轄の事業でございますが、平成21年度は全国、たしか13カ所しか認定ならなかった中の、長井市が認定いただいたということでございます。今では、かわまちづくり事業、県内7市町村ぐらい行っておりますけれども、非常にそういう意味では、長井市に対してご理解をいただいたと。

この事業の趣旨というのは、議員からご指摘のあった、やっぱり堤防補強等がまずメインでございます。それから、堤防のないところ、未堤地帯っていいんですが、ここの解消ということで、長井市については、堤防の補強が必要と思われるところを3割勾配から5割勾配まで強くしたと。あと、今進めております森、東五十川の築堤、これらについても、我々、市からお願いして、特に森、東五十川は実現できたものでございます。

今回のその後の観光交流センターとも関連しますが、河川緑地公園については、平成21年度に最上川河川緑地公園として、都市再生整備計画を図る可能性を探っていたということから、

今回、予算計上させていただいてる場所について、民地がずっと続いているということで、何とかして、ここは民地では整備できませんので、官地に何とかしなきゃいけないと。長井市としては、到底お金がございませんので、国のほうに買ってもらえないかとお願いして、実現できたものでございます。

それは、かわまちづくり事業で、国のほうで国交省のほうで用地調査、地権者の調査をしたということで、長井市が全面的に協力いたしました。その中で、地権者を把握しましたので、ここについてご協力いただきたいということで、買っていただいたと。これについては、竹田博一議員のご質問でもお答えしたとおりでございますけれども、残念ながら国の方針が変わって、2年目以降はとてそんな予算はつかないということでもございました。

浸水の可能性のあるところについては、最上川にかかわらず、今後とも堤防の補強は国あるいは県にお願いしてまいりたいと思っておりますし、また、いろいろ調べてみましたら、やっぱり河川が増水して水浸しになったという例は過去に何回かございまして、特に最近ですと平成14年に集中豪雨で、米沢吾妻連峰系が非常に増水して、冠水した例があるということでございますが、やはりこれは長井市が冠水するということは下流はもっと大変でして、酒田でもあるいは県民ゴルフ場あるところでも、全て河川に浸水してるわけですから、これらはもう河川公園としての宿命、これは大都市圏の河川公園も全て、玉川にしても荒川にしても利根川にしてもそうなるわけですから、これはいたし方ないだろうというふうに思いまして、ですから、それらも想定して、仮設の建築物しかできないということだと思っております。

最後に、観光交流センターの予定地は適地なのかということで議員からございましたように、現在の場所、予定としてるところは建物があり

ます。あるいは実際、会社として入ってるところもあるんですが、その辺はどうなんだということでございます。

まず、ちょっとパネルをごらんいただきたいと思います。大変恐縮ですが、これは議会のほうにも初めてお見せいたしますが、長井市の重要文化的景観ということで、これ、文化庁のほうに申し出をしようとしてる内容でございます。ここの色を塗ってる部分が、いわゆる長井市が最上川の舟運のまちだということで、いろんな史跡あるいは建物、重要なものが残ってる範囲でございます。

今回、考え方といたしましては、ここが宮の船着き場、ここが長井橋ですね。ここがさくら大橋、水色の部分が主要な道路、色を塗りました。あとこの緑が鉄道です。このピンクのほうは中心市街地の活性化ということで、この辺ぐらいいまでですけども、街路事業、もう3年目なんです。将来、この黄色の駅前通りも何としても認定いただきたいと。そうしますと、この間の部分を、役所の周辺も絡んでまいります、新たな長井市の顔としてつくっていくと。

一方で、両側は、宮と小出については、非常に貴重な文化遺産がたくさんあるということです。特に宮のほうは、丸大扇屋、文教の杜、それから遍照寺、總宮神社と、そしてあやめ公園につながっております。あと一方で、小出のほうは、あら町、館町、そして、やませ蔵が象徴するようないろんな建造物ありますし、つつじ公園があると。そんなことで、この中でやっぱりこの間が一番適地じゃないかというふうに思われます。残念ながらタスはここなんです。

それから、つつじ公園というのは、何かいろんな制約があって、これは100%不可能です。ほかにまた同時に公園をつくるということであれば100%でなくなる可能性ありますけども、あとはここがダムの工事事務所の跡地なんです。ですから、そういう意味でいえば、こっ

ていうのは非常に立地的には理想なんです。一番のところは、グルッペの跡地だったわけですが、これは残念ながらもう開発されてしまいました。残ってるところがここで、これは競売にかけようとしてるところですから、そういった意味では、問題なのは、長井小学校とめぐみ幼稚園だということですが、長井小学校もあるいはめぐみ幼稚園も、今のところ保護者の皆さんから聞いてはおりませんが、安全性さえ確保できれば、むしろ歓迎だというようなお話もございました。それはめぐみ幼稚園なんかは、河川公園ということも前提であります。そんなことで、考え方としてはこういうふうな、用地としては一番適地じゃないかなというふうに思っています。

あと一方で、これは前にお見せいたしましたけれども、ここがこれから都市再生整備計画というのは、今、観光交流センターのいわゆるまずはかわと道の駅、河川緑地公園で、なかなか議会の皆さんからご理解いただけないわけですが、都市再生整備計画そのものはどうなんだというところの議論が、やっぱりもう少し私もお願ひしていかなきゃいけないのかなと。都市再生整備計画というのは、先ほど申し上げました長井市の中心市街地が非常に衰退してるわけですから、それを活性化させるための事業として国で設けてるものです。したがって、この事業を行うことによって、いろんなにぎわいをつくるもの、同時にまちの中の生活環境整備も、これ一体で進めるものなんです。ですから、かわと道の駅が都市再生整備事業では、それだけではないんですね。ですから、まずはそちらの議論をもう少し、やはり私のほうからも願ひしながら、個別の計画については、各論としていろいろご意見をいただくというふうに進めていかなければならないというふうに思っています。

ご指摘の部分については以上でございますが、右折レーンとかそういったところについては、

先ほどの図面の中でいきますと、地図の中でいきますと、右折する車が入れるところっていうと、あそこの長井小学校と日産のところの十字路から入っていただくような、やっぱり仕組みづくりをしていくと。あと、危ない道路等については、めぐみ幼稚園、長井小学校のほうの、子供たちのために十分な対策を講じながら進めてまいりたいと思いますので、よろしく議員のほうからご指導賜りたいと思います。

なお、予定地については、この間もご質問の中でお答えいたしました。決まったわけではなくて、変更はもちろんできるわけです。土地については、もちろん買えないわけですから、まだ。お話しはしてますけれども、ですからそういった意味では、まだ少し余地があるかと思いますが、しかし、国のほうの予算は認めていただいておりますので、年度内にそれを成果品として上げなきゃいけない。ですから、そうしますと、作業期間から含めれば、やっぱり残された時間は短いので、ぜひできるだけ早い場所の決定もしなきゃいけないだろうというふうに見てるところでございます。

○蒲生光男議長 中井 晃商工振興課長。

○中井 晃商工振興課長 それでは、私から、このたびの東芝ライテックの工場閉鎖計画に伴います現在の進行状況並びにその影響等につきましてお答えさせていただきます。

現在は、9月下旬をめどに従業員の意向取りまとめをしておるというふう聞いておまして、ちょっとそこの取りまとめ状況についてはまだ承知をしてない状況でございます。

なお、従業員の皆さんの意向を取りまとめた後は、その後、個別の相談を行う予定でありますということ、これまでも申し上げておりますとおりでございます。

なお、9月の12日、今週でございますが、また村上取締役がこちらのほうに来られる予定だそうですので、ある程度の話が進んでるのを

聞きできるのかなというふうに思っております。

また、東芝ライテックとLDFとの取引関係のある会社は、長井市内では6社を確認しております。うち4社につきましては、もう既に県外からの受注開拓ですとか、当該の2社からの受注比率を下げる等の対策を行っております。3月の工場閉鎖の際には、致命的な影響は出ないような対策をもう講じているというふうな報告を聞いております。

また、1社につきましては、東芝ライテックの物流ネットワークを担当する会社でございます。今回の工場閉鎖によりまして直接的な影響が出ると思われま。ただ、この会社は、長井市の工場だけの物流の受発注関係にあるものではございませんで、東芝ライテック全体との取引関係があるというふうにお聞きしておりますので、長井市の営業所の閉鎖というところは心配されま。けれども、物流事業はこの会社としては継続されるのではないかとこのふうに見ております。

ただ、もう1社、非常に、長井市内の会社でありまして、東芝ライテックからの受注割合が高いと言われております会社がございます。こん包の関係の会社でございますが、さらにこの会社から市内の業者なり、内職業者等への下請も出ているというふう聞いております。こちらのほうにつきましては、今後、新たな受注拡大を図る等の努力をしていただく必要があるのかなというふうに思っております。ただ、東芝ライテックさんからお聞きしますと、ことしに入りまして、出荷額等がかなり減少しておりますので、こん包資材等の発注もある程度減少した状況で今、お願いしておりますので、受注を受けております会社につきましては、当然そういったところの動向というのは既に把握されてるのかというふうに思っております。

あと、求人関係でございますが、まず高校生の求人につきましては、山形労働局が8月31日現

在でまとめました状況がようやく発表されました。県内である程度の改善はあるんですけども、製造業が多い長井市や米沢市につきましては、有効求人倍率がまだ低調な状況があるというふうな報告が出ております。ただ、昨年と比べますと、大分改善をしてきておりまして、特に置賜地域につきましては、県内の中での改善率が高いということがございますので、製造業につきましてもやや回復傾向があるのかなというように感じをしております。

あと、高校生に対しての現在の状況でありますけれども、高校生の求職者数が144名でございました。これに對しまして求人数が175名というふうになっております。昨年の今の時点では165名の求人数でありましたので、やや、やはり昨年よりは改善してるという状況がこの数字にも出ております。

なお、昨年の状況を見ますと、最終的な求人数は300を超えておりますので、これからももう少し求人数がふえるのであろうというふうに見込まれますので、ことしの求職状況につきましては、昨年よりもやや改善するのではないかとこのように考えております。

あと、求人と求職のアンマッチがあるのではないかとこのようにご指摘がございました。

確かに建設分野につきましては、災害の復興関係の需要もございまして、大分求人数は多いんですが、それに対しての求職者が少ないという現状はございます。また、看護、介護の分野につきましても、同じように求人は多いんですけども、それに対しての求職者は少ないという状況は相変わらず続いております。

特に介護分野につきましては、ヘルパー等の資格を持っておりまして、現在、職がない方でも十分に就職できるような状況にはあるんでありますけれども、やはり介護業務が大分体力的に負担がかかる、特にお年寄りを動かす際には相当体力が必要であるというので、資格は持っ

てもなかなか常時雇用の業務としてつくにはちょっと不安だという方が多いのではないかとこのように思われております。この辺の対応策がこれからは何かしら必要になるのかなというふうに思っております。

また、求人を出してもらうために市からの呼びかけということでございますが、もう既に大体の求人が出ておりますので、これからの求人が出るというのは、呼びかけだけではなくて、会社の計画によって出るものが多いかと思われるんですけども、雇用対策協議会の皆さんと相談をいたしまして、市からも何かしらの働きかけをこれからも行っていきたいというふうに考えております。

○蒲生光男議長 浅野課長はいいんですか。

8番、大道寺 信議員。

○8番 大道寺 信議員 それぞれご答弁いただきましてありがとうございます。

まず、東芝ライテックの関係については、市長が言われましたけれども、やっぱり捉え方としてはそういう、大変深刻な問題だというふうに捉えるべきだというふうに私は思っておりますから、そのとおりでと思います。

しかし、そうはいつでも、じゃあ行政として何がやれるのかというのは、もうやれることというのは限られてるわけですし、私は一番なのは、先ほども言いましたけれども、ちょっと状況の把握も私もいろいろ個別に情報をとってるわけですけども、さっき9月の下旬まで従業員の意向調査ってありましたけど、現実的には、今、労使の基本合意、この閉鎖、製造拠点再編成について、労働組合として、いいですよという、いわゆる基本的な合意ってまだできてない状況なんですね。この基本合意できなければ次進まないわけですから、今、実はその辺で非常に大変重要な時期だと私は思ってます。

聞くところによりますと、やはり皆さんも最初からこの提案出たときに思ってるのとおり、み

んな確保しますよっていったって行けない人いるわけですね、必ず、遠いわけですから。そういう人たち、いわゆるここに残らざるを得ない人たちから、何とかここに、形態が変わっても、正直言って処遇が下がってもいいから何とか残してもらえないだろうかというのが、これはライテックもLDFも同じ声なんです。それを受けて、恐らく労働組合としては、そのことを会社側に今ぶつけてると、こういう状況だというふうに捉えているんです。

だとしますと、そういう状況ですので、行政としてはやっぱり後押しのためにぜひ会社は考えてほしいということ、ここやっぱり近いうちに行かないと、あと行政何をしてんだってなっちゃうんでないかということなんです。次にできることってというのは、決まってからできることって、本当に限られてるんです。就職をあっせんすること、できないんですよ、なかなか、こういう状況ですから。

ですから、先ほど市長はまだ行かれてなくて、それはいろいろ事情あってのことというお話ですけども、これから鹿沼の移動が決まった時点で、皆さんと一緒にいこうかという状況だということなんですけども、むしろ行くには、ここ近いうちにやっぱりもう一回行って、市としての要望を伝えるべきじゃないかというふうに、ここの時期的な問題含めて、私はそういうふうに捉えているんですけども、その辺についてもう一度考えをお伺いしたいと思いません。

○蒲生光男議長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 お答えいたします。

大道寺議員から大変貴重な情報もご意見もいただいたと思います。今泉議員のご質問でもお答えしたんですが、我々行政のほうから、やっぱり会社間の中身については、なかなか入れないというのがあるんですよ。ですから、例えば電機労連ですよ、連合加盟の電機労連、ある

いはそういった労働組合側から、これ、長井市として動けというふうに言っただけで動かしやすいですよ。しかし、我々のほうから、労働組合と一緒にしたほうがいいべかなんていうこともなかなか今言える状況じゃないと。ただ、議員おっしゃるように、まだ組合として、会社に対して合意してないんだと、だから絶対だめだということも前提に残すために、じゃあどうするかということをお話し合いをなさってるとしたら、ぜひ大道寺議員を仲立ちとして、我々のほうも接触させていただいて、これは長井市だけじゃなくて飯豊町も一緒になって、これはぜひ必要だったらすぐにでも対応しなきゃいけないと思います。よろしくご指導いただきたいと思えます。

○蒲生光男議長 8番、大道寺 信議員。

○8番 大道寺 信議員 確かに向こうから来ないといけないという、そういう表現じゃないんでしょうけど、そういうことじゃなくて、これは長井市としてやっぱり重要だということですので、ただ、合意するのもう近いという話してるんです。なぜかっていうと、もうこれ決まらないうと、次のいわゆる工程表っていうかができないんですよ。従業員の意向を聞きなさいいけない、あるいは設備を移転しなさいいけない、何しなさい、そうでないと、来年4月からなんて全部向こうに行けないということですので、ですから今、そういう意味ではタイムリミットなものですから、ぜひそういう組合から言われたじゃなくて、そういうタイミングの問題として市が今行くべきではないかという状況だと私は把握しますので、なお、市長から言われましたけども、そういう東芝ライテック側の従業員側の意向がどうなのか、それについては私のほうでももう一度話を聞きながら、必要であればまた申し上げていきたいと思えますので、ぜひそのときはよろしくご願ひ申し上げたいと思えます。

それから、さまざまな今、状況が厳しいというのは、私はこれ、やっぱり市長の言うとおりで、もう国が何をしてんだということだと思うんですよね。これだけ長く円高が続けば、当然行かざるを得ないということですので、それは同感なんです。ただし、一方では、そう言いながら、何としてもこの地域で国の政策悪い悪いとばかり言ってたって、もう逃げてくばっかりですから、完全それは後手になっちゃうものですから、そういう意味で、非常に企業誘致っていうのは必要ではないかということを変更して感じたんです。

今までは、確かに今、そういう動きの中で、来てくださっていてもなかなか来てもらえないんじゃないかっていう思いがあったものから、ただ、そういう意味でいうと、さっきも質問で申し上げたように、何も大きい一流の企業って、7日は赤間議員は東芝の名前を残すほうがいいなんていう、一流の企業の話をしました。なかなかそれは難しい話でして、少なくともいろんな特徴、技術を持ってる、さっき言われた食品であろうが医療であろうが、あるいはこれからエネルギーの関係ですとか、そういう新しいところもいいと思うんですけども、これ、徹底して調査しながらやっていかなきゃいけないというふうに私は思っております、もちろん工業団地がないっていうハンデ、そこの手だてをどうするかということも含めて、これ、真剣にやらなきゃいけないと思うんです。

したがって、むしろ商工振興の関係について、部署的にそういう人員配置も含めて、その辺の検討も含めて、これから力を入れていただきたいと、こういうふうに思うんですけれども、その辺についてはいかがでしょうか。

○蒲生光男議長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 お答えいたします。

確かに企業誘致については、有効な雇用のため的手段ですから、企業振興室というのがそれ

に当たると思っています。人も人員も3名配置しております、非常に優秀な職員で行っております。今、長井市の場合は、大道寺議員がおっしゃるように、大企業だけを狙うということではなくて、長井市に立地している、あるいは長井市に本社を置いてる地元の製造業の皆さんからいろんな情報をいただいて、その人のつながりで当たってるんですね。これは実現はしなかったんですけども、いっぱい当たってるんですよ。私もいろんなところを回ってるんです、実は。ただ、全然実績上げないものですから、上げられないものから、余り大きい声で言えないということで、特に夏なんかは、一回上京して、5社ぐらい一日回ったら、もう汗でびしょりですよ。それぐらい担当とやっておりますが、ついこの間も、地元の製造業のほうからの関係、あるいは今回のトヨタの自動車関連とかの紹介で、神奈川の企業が将来的に50人ぐらいの可能性あるということで、場所も決めて、この場所どうだということ、具体的に検討していただいたんですね。中国に行くか、日本に残るんならここに来るかということで検討していただいたんですが、残念ながら結果は、ついこの間でしたが、だめでした。

あと、去年も立地が可能だったところはいろんなつてでしてるところです。私が思うのは、今、戦略的に太平洋側でやってるように、自動車産業というすそ野の広い部分を見事にやっぱり宮城県あたりは実現してるわけですね。そういったダイナミックな動きもしていかないと、なかなか雇用っていうのは難しいと。長井市にだけじゃなくて、例えば長井市に住んでいて、隣の白鷹町とか飯豊町とか川西町でも十分行けるわけですね。米沢市でも行けますから、そういう広域的な広がりの中でどうするんだという取り組みをしていかなきゃいけないと思ってる場所です。

○蒲生光男議長 8番、大道寺 信議員。

○8番 大道寺 信議員 十分その辺の対策をとってるといってお話ですけども、これからいわゆる予算も含めて、もう少し検討いただきたいなと思います。

あわせて、東芝ライテックの問題で、東芝ライテックは本社がもう関東なわけですね。そういう会社は何件かあるわけです。その辺について、日常的に、それをやったからどうかってということじゃないんですけどね、やっぱり市長みずからが表敬訪問しながら、ぜひ何かもう頼むと、ここ長井市のほうも。そういう日常的な取り組みと、それからさっき言った来春の新卒の関係を言いましたけれども、白鷹町長は、東京あたりに本社があるところは、直接行って、何とか雇用について協力してくれということを積極的にやってるといってお話を聞きました。そういう日常的事もぜひ引き続き取り組んでいただきたいと。これは要望ですので、申し上げておきたいと思います。

それから、次には、都市再生整備事業の関係ですけども、さっきから市長は、今までの経過というか、先ほどの舟運文化の文化的景観のやつは、あれは協議会で実は聞いてます。そのお話は聞きました。それはそれでいいんですけども、この間からの話でお聞きしたいのは、観光交流センターもそうなんです、河川緑地も、土地の購入の場合は今回除いてるわけですね、二つとも。その場所として決まったんですかっていってお話ししますと、必ず決まってねえと、まだ決まってねえというお話しするわけですけども、特に観光交流センターの場所は、ずっと議論していると、結局こういうところどうですかっていったら、必ずここはこうでこうでこうでっていってお話しするものですから、基本的には決まったんじゃないですかというふうに私申し上げたんですよ。決まったなら決まったで話をすればいいんですけども、7日の答弁では、また市民のところ、伺うじゃねえな、

どういう機関かわかりませんが、どういう機関に出すかわかりませんが、そこにもう一回議論してもらって決めるのだと、こういうお話だったと思います。まち・住まい整備課長、そういう答弁したと思いますけども、例えばそこはどういう機関になるんですか。いわゆる今まで検討してきたところは大体そういう適地だっというふうに決めてるわけですね。その後、何に諮ってやるんですか。そのところをちょっとお伺いしたいと思います。

○蒲生光男議長 浅野敏明まち・住まい整備課長。

○浅野敏明まち・住まい整備課長 大道寺議員のご質問にお答え申し上げます。

このたび予算を上程してありますが、可決になりますと、まず現況測量に入ることはこの前お話し申し上げました。それと並行して、整備検討委員会をつくります。前回は、構想を立てるために計画検討委員会を設置しまして、必要性とか立地場所とか、そういうものを検討していただきました。今度は、実施設計に入るまで、基本設計を立てるために具体的な施設、グレード等を検討するために整備検討委員会を設置する予定であります。以上でございます。

○蒲生光男議長 8番、大道寺 信議員。

○8番 大道寺 信議員 正直言って、今までこういう場合というのは、そういうやっぱり順序でいったんですかね。大概、構想って、こういう必要性をした検討委員会ね、そこで出すやつを市としてやるかどうかというの、あと庁議できちんと決めてやると、こういうのが普通なんじゃないですか。整備するためにもう一回検討委員会をつくるというやり方ってのは、今まで同じですか。ちょっとわかりませんので。

○蒲生光男議長 浅野敏明まち・住まい整備課長。

○浅野敏明まち・住まい整備課長 お答え申し上げます。

昨年度設置しましたのは、計画検討委員会ということで、あくまでも全然真っ白な白紙の状

態からの検討ということで、長井市としてかわと道の駅というのは必要性あるのか、河川公園、緑地公園は必要性あるのかと、そういう基本的な部分から検討していただいたのが計画検討委員会で、今度設置します整備検討委員会は、具体的な施設です。基本設計を立てるための具体的な施設、グレードなどについて検討するための検討委員会でございます。

○蒲生光男議長 8番、大道寺 信議員。

○8番 大道寺 信議員 ということは、結局今までもそういうことでやったんだということですか。そこだけ聞かせて。

○蒲生光男議長 浅野敏明まち・住まい整備課長。

○浅野敏明まち・住まい整備課長 お答え申し上げます。

生涯学習プラザ運動公園につきましても、構想はコンサルを頼んでおりませんが、構想があって、その後に基本設計を立てました。その中で検討委員会を設置しまして、いろいろご意見を伺いながら基本設計をまとめて、最後に実施設計に移らせていただいております。以上です。

○蒲生光男議長 8番、大道寺 信議員。

○8番 大道寺 信議員 そういうことだということで、ちょっとこの間の7日のやつで聞いて不思議だなと思ったのはそういうことだということですから、それは一つわかりました。

時間ありませんので、基本的に言うと、結局今までは私ら議員としては、場所的にもやっぱり非常にいろいろ問題あるんじゃないですかって議論してきたんだけど、そこはあくまでも構想の中で議論しなだということであって、その中身というのはこれからと。だから、河川緑地公園も、市長がこういう構想だっているいろいろ言われました。あるいは、こういうふうに駐車場は何台分こうだなんていうのを見せていただきましたけど、それは全く決まってねえんだと、構想だと。そのために、測量調査をしてから、今度、整備のやつをやって、それで正式に

決めていくと、こういうことなんでしょうか。

そうしますと、今まで議論してきたというのは、非常に不思議な議論になるんですが……。

(「結論から・・・」の声あり)

○8番 大道寺 信議員 いや、結論からって、結局私らが最初に3月に申し上げたのは、そこがやっぱり問題なんで、もう一度きちっとその辺は順序立ててやるべきじゃないですかっていうふうに申し上げたわけですが、時間ありませんのでね、これはこれでまたほかの議員も含めて、あるいは総括含めて、議論されると思いますけども、ぜひ私どもはもう一回、そうであればそういう視点で議論を深めていきたいと思えます。時間ありませんので、私の質問は以上で終わります。

○蒲生光男議長 ここで、昼食のため暫時休憩いたします。再開は午後1時といたします。

午後 0時02分 休憩

午後 1時00分 再開

○蒲生光男議長 休憩前に復し、午前に引き続き会議を再開いたします。

市政一般に関する質問を続行いたします。

我妻 昇議員の質問

○蒲生光男議長 次に、順位8番、議席番号7番、我妻 昇議員。

(7番我妻 昇議員登壇)

○7番 我妻 昇議員 よろしくお願ひいたします。午後になりまして、一層気温が高くなっているように思います。暑さをはね飛ばすべく、長井ダムとまなび館のお話をして、少し涼を感